

# 2017(平成29)年度 事業計画

2017/03/25

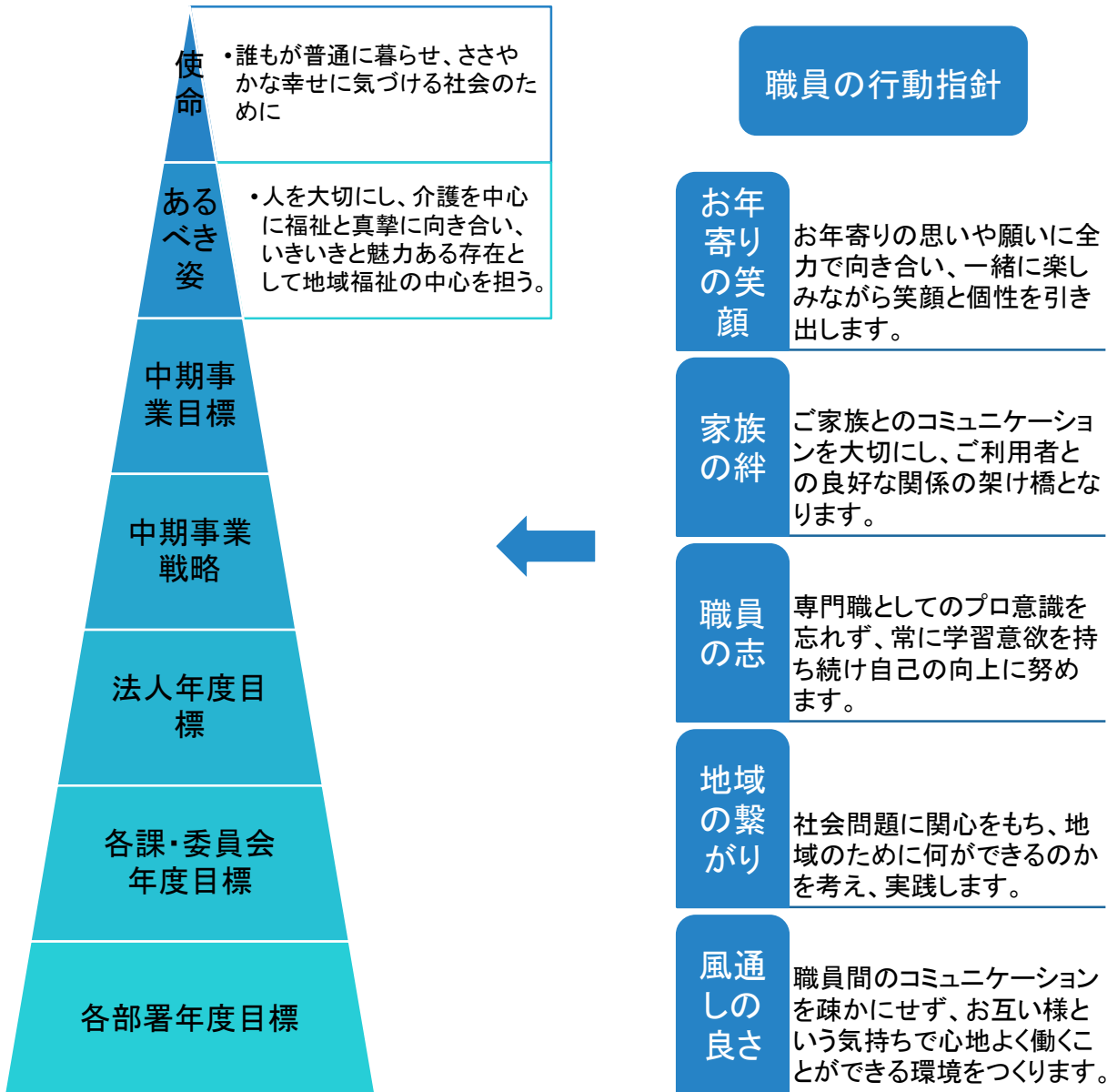
社会福祉法人 絢会

## もくじ

- ◆ 基本理念 ～ 目標体系
- ◆ 中期事業目標・中期事業戦略
- ◆ 生活支援の姿勢・在宅支援の姿勢
- ◆ 職員への思い
- ◆ 職員の心がけ
- ◆ 2017年度基本方針
- ◆ 組織図
- ◆ 数値指標

◆ 基本理念 ～ 目標体系

# 基本理念 【普通に暮らす幸せ】



- 使命/職員は何を大切に考えて仕事をするか
- あるべき姿/(2017(平成 29)年度末)にどのような組織であるべきか
- 中期事業目標/あるべき姿を達成するための具現化すべき目標
- 中期事業戦略/事業目標を達成するうえで重点としたいポイント

## ◆ 中期事業目標・中期事業戦略(2015年度～2017年度)

### I.介護を中心に福祉と真摯に向き合う

- I-1 質の高い基礎介護力の維持・向上
  - ①介護の質の言語化と可視化
  - ②基礎介護力研修カリキュラムの確立
  - ③PDCAを用いた目標管理
- I-2 地域福祉への貢献
  - ①地域行事やボランティアへの積極的な参加
  - ②積極的な広報活動
  - ③法人資源を活用した柔軟なサービスの創造と公益活動

### II.いきいきと魅力ある存在となる

- II-1 次世代を担う福祉人材の育成
  - ①研修制度の確立と充実
  - ②積極的な他事業所との交流
  - ③多様な働き方を可能とする職場環境
- II-2 風通しのよい職場環境
  - ①ICT化による情報の共有化・一元化
  - ②社内コミュニケーションの活性化
  - ③福利厚生の実施

### III.財政基盤の安定化

- III-1 数値目標
  - ①当期資金収支差額（毎年:8百万円以上）
  - ②年度末預金（2017(平成29)年度末:8千万円以上）

## ◆ 生活支援の姿勢

お年寄りの方々に安心して生活していただけるよう努力します

- 馴染みの物、馴染みの関係を大切にします。
- お年寄りの身体の事を理解する努力をし、出来る事に目を向け心身ともにサポートします。
- 常にお年寄りの立場に立ち、探究心、向上心をもって継続してケアの質を高めます。

## ◆ 在宅支援の姿勢

在宅で暮らし続けるために、事業所の枠に収まらない複合的な支援をします

- 利用者様ひとりひとりと向き合い、潜在的な思いや能力を引き出し、チームとして同じ目標に向かいチャレンジしていき「気持ちを支えるケア」を実践します。
- 急な状況の変化にも迅速に対応ができ、生活状況に合わせて最善の方向へと一緒に考えることで、家族様の心の負担を少しでも軽く出来る「よりどころ」になります。
- 利用者様の心を前向きに動かし、「まだまだ出来る事」をサポートしながら心と体を元気にします。

## ◆ 職員への思い

職員も幸せになるべきです。人間的な成長は自身もご利用者も、そして周りの人も幸せにしていくと考えます。働きやすい職場で、やりがいをもって生き生きと働くことが自己実現につながり、人間的な成長を促すと信じ、人財育成に取り組みます。

### 自己実現を応援します

- 当法人で働くことがステップアップの場であって欲しいです。目の前のこと、些細なことも疎かにせず、自分のあるべき姿を思い描き自己研鑽に励む職員を応援します。
- 迷い悩むことは当然のこと、一緒に悩み、考えられる仲間でありたいと思います。

### 働きやすい職場を創造します

- ワークライフバランスを大切にし、多様な働き方を受け入れられるような体制を整えます。
- 情報の滞りが人間関係に悪影響を及ぼしてしまうことがあります。情報の流れを整備し共有化を推進します。

### やりがいをもって生き生きと働くことを支援します

- 成功体験を積み重ねていくことが自信を生みます。目標設定と振り返りをしっかり行い、成果を確認することが、やりがいにつながります。
- やらされる仕事はつまらない。自分たちで問題を発見し、考え解決していく仕事のほうが楽しいはずです。
- 手段と目的を混同させない。「何のために」という目的を伝えること、見失わないことが大切です。
- 自らの個性を生かしながらもチームに貢献する職員を応援します。

## ◆ 職員の心がけ

### 気持ちの良い挨拶をすること

- 『関係性が円滑になります』
- 挨拶は、人と人とのコミュニケーションのはじまりです。気持ちの良い挨拶は、自分も相手も心地よい気持ちになり、その場の雰囲気も良くする事ができます。

### 素直であり続けること

- 『飛躍的に成長します』
- 謙虚に耳を傾け、学ぶ姿勢で相手の人に接します。先輩方や後輩、周りの人から信用と信頼を得られ、たくさんのことを学びとることが出来ます。

### 努力を惜しまないこと

- 『人間性を育みます』
- 創意工夫を重ね、一生懸命に与えられた仕事に打ち込むことです。何か壁にぶつかっても諦めず、努力を続けることで自分の足りないところが見つかります。

### 利他の心で判断すること

- 『正しい判断を促します』
- 「自分だけがよければ」という利己の心ではなく、「人によかれ」という利他の心で考えます。他の人の気持ちを汲みとれるようになり、広い視野と深い思考で考えられるようになります。

### 感謝を常に忘れないこと

- 『人生を豊かにします』
- 人は必ず誰かと関わって生きています。今を当たり前と思わず、お蔭様という気持ちで感謝を示すことが、周りの人と自分の幸福感となります。

## ◆ 2017年度 基本方針

1. 職員ひとりひとりが成長を実感できるような職場づくりを目指します。
  - (ア)「理念の確認」「キャリアパス」「お互いを知る」面談を実施します。

法人理念をもとに大切にしていることを確認します。また、キャリアパスを通じてお互いを知るキッカケとしての職員面談を行います。
  - (イ) キャリアパス基準の運用を推進します。

キャリアパスにおいて、役職者へのキャリアのみではなく、専門分野において自らのスキルを磨いていくマスターコースを創設します。各職員の現在の立ち位置を確認し未来の姿が思い描けるようなキャリアパス基準の運用を目指します。
  - (ウ) 研修への参加機会をより増やします。

職員一人一人への刺激とスキルアップを図るため、施設内研修の場を積極的に設けます。また、各職員が1年に1回以上外部研修に参加できるような体制と仕組みをつくります。
  - (エ) 自己啓発支援を行います。

これまでの『資格取得補助手当』とともに、新たに創設した『資格取得支援』の活用も推奨していきます。働きながら資格取得を目指す職員を応援します。
2. 生活環境の整備を行います。

入居者の暮らしの場の環境整備を行います。ユニット共有部やフロアの備品の買い換えや修繕、購入を行い、落ち着いて過ごすことのできる生活感のある空間づくりをすすめます。
3. 住み慣れた地域で安心して生活していくための取り組みを探ります。

制度外での取り組み「ウキウキショッピングバス」や「カフェ@じゅげむ」などを継続して実施していくとともに、家族やボランティア、地域を意識しながら内容を充実させていきます。また、介護の分野に留まらず、より広い視点で地域をケアできる新たな取り組みを探ります。



4. ICTを活用し、業務改善を行います。

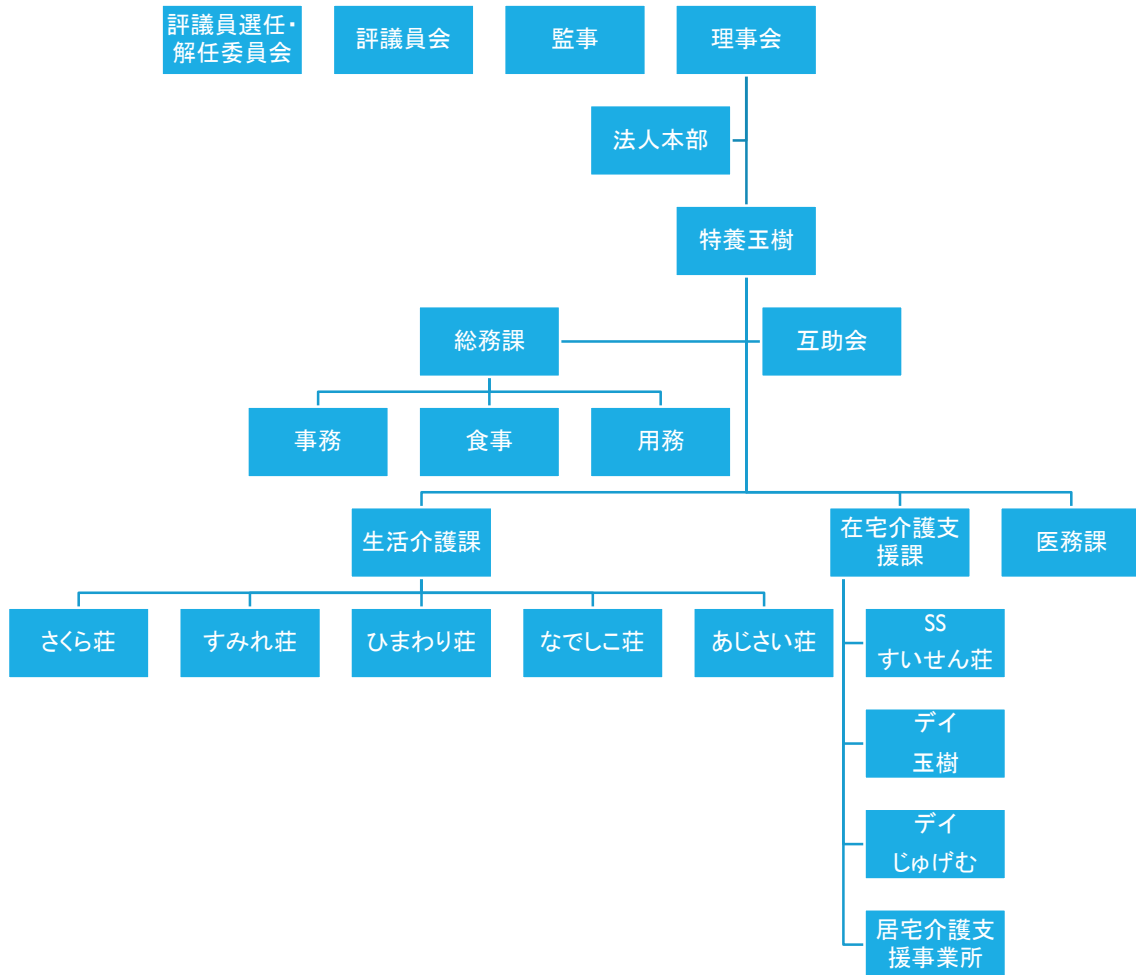
(ア) データを活用し、ケアの質の向上を図ります。

ケアの実態やリスクマネジメントのデータの収集・分析を行い、要介護度や入退院の状況等と関連づけ、ケアの質の維持、向上につなげます。

(イ) ICTを活用した事務作業の効率化と情報の共有化をすすめます。

あたり前に行っている業務の整理と見直しを行い、ICTを活用し事務作業の効率化をすすめていきます。また、紙の申請書等もデータに移行できるものを検討し、ペーパーレス化とデータベース化により、情報へアクセスしやすい環境整備を行い、情報の共有化をすすめます。

◆ 組織図



◆ 数値指標

	特養	ショート	デイ玉樹	デイ じゅげむ	居宅介護 支援事業 所
利用者定員	50	10	25	10	-
稼働日数	365	365	310	313	-
稼働率	98.00	99.00	75.00	90.00	-
一日平均利用者数	49.00	9.90	18.75	9.00	-
利用者延べ数	17,885	3,613.5	5,812.5	2,817	-
単価(1人1日当たり)	13,612	14,050	10,004	11,239	-
総収入(千円)	<b>243,455</b>	<b>50,770</b>	<b>58,150</b>	<b>31,660</b>	<b>13,900</b>